道德通信 ~#めてみました~

主体的・対話的で深い学び~考え議論する道徳~

体験活動を基に、よりよい生き方を探る道徳

日付・学年 6月28日(金)5年2組

内容

福田先生の事後研(班別協議)で使ったワークシートが自分の手元に戻って きました。どうまとめようか迷ったのですが、以前使っていたフォーマットがあった ので「道徳通信」を書いてみました。何号まで続くか分かりませんが、頑張りま す。記録に残して普段の週一の授業実践に生かせればと強く感じた学びの多 い公開授業でした。福田先生、ありがとうございました。以下、授業での様子や 事後研で話題に上がったことをまとめました。お時間ある時にご一読ください。

今回の学び

道徳的価値に迫る全体対話 ~福田先生の緻密なコーディネート術から~

今回、授業を見せて下さった先生

福田 桂子 先生

【こんな工夫がありました《凸】

- ・タブレットと紙媒体のハイブリッド
- ・教材文を切る(登場人物に重ねて考えやすい)



【福田先生のコーディネート術:「先発、中継ぎ、抑え」を決めた全体対話〇】

- ①どんな順番で道徳的価値に迫っていくかキーワードを事前に決めておく
- ②机間指導をしながら、座席表に指名順をメモ 🔥
- ③意図的指名で徐々に道徳的価値に迫っていく

【板書】

校長先生のコーディネート術

- ①少人数意見⇒大人数意見⇒最後に折衷案を引き出す
- ②浅い⇒深い考えの順で指名

【事後研での班別協議】

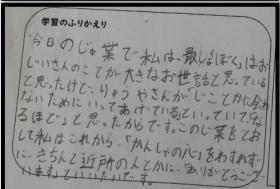
視点|<u>体験活動とつなげた導人・まとめの工夫</u> 、生活化解決を語れていた。



【授業終末の振り返り】

今までは、均域の人かあれてをしてきたら、でんにちはとあいまっくでういしか返せなか。たけど、今日の勉強で大きなお世話だとは思っていなか。たけど、自分たちのことを心

配して言ってくれていると思ったら、おっかれました。ない方がもしたいと思いました。



次回の検証授業は、7月10日(水)、山内先生の授業です。次回もチームドジャースでよりよい授業をみんなで考えていけたらと思います。「青春」の大切さも再認識した事後研でした。早く夏休みが来ないかな・・・

今回の研修とは、関係ないけど・・・

【「深い学び」ってなんだろう?】

主体的・対話的で深い学び~考え議論する道徳~

よく飛び交う言葉ですが、「深い学び」だけは、イメージしづらい…

- ・主体的=子どもが意欲的に考えたり書いたり話したりする姿
- ・対話的=友だちと考えを伝え合う姿
- ・深い学び=どんな状態になったら、深い学びと言えるのだろう・・・

深い学び

【深い学びの4類型 ~「深い学び」田村学(國學院大学教授:元文部科学省視学官)~】

- 1. 宣言的な知識がつながるタイプ
- 2. 手続き的な知識がつながるタイプ
- 3. 知識が場面とつながるタイプ
- 4. 知識が目的や価値、手応えとつながるタイプ

一言で言うなら…

今日新しく学習した知識とこれまでの学び、生活経験で得た知識が「つながる」ことを実感した時、深い学びが実現される。

【深い学びを実現する=各教科の「見方・考え方」が働く授業の工夫】

①道徳科における「見方・考え方」

「様々な事象を、道徳的諸価値に ついての理解を基に、自己を見つ め、物事を多面的・多角的に考え、 自己の生き方について考えること。」

企

(2)この見方・考え方を働かせる思考スキル

- ・比較する(ひ)・理由づける(り)
- ・関連づける<mark>(かん)</mark>・分類する<mark>(ぶ)</mark>
- ※<mark>「ヒリヒリ患部」</mark>を意識した発問や展開

- ③津奈木の道徳でもやっていそう!ヒリヒリ患部
- ・導入と終末での体験活動の想起
- ⇨「関連づける」
- ・スケールで自分の立場を決めた(意見交流)ハートつなぎタイム
- ⇒「比較する」「理由づける」
- ④他の教科の見方・考え方

